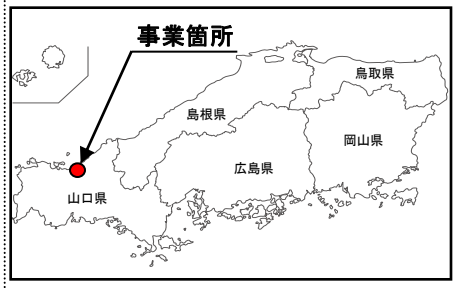
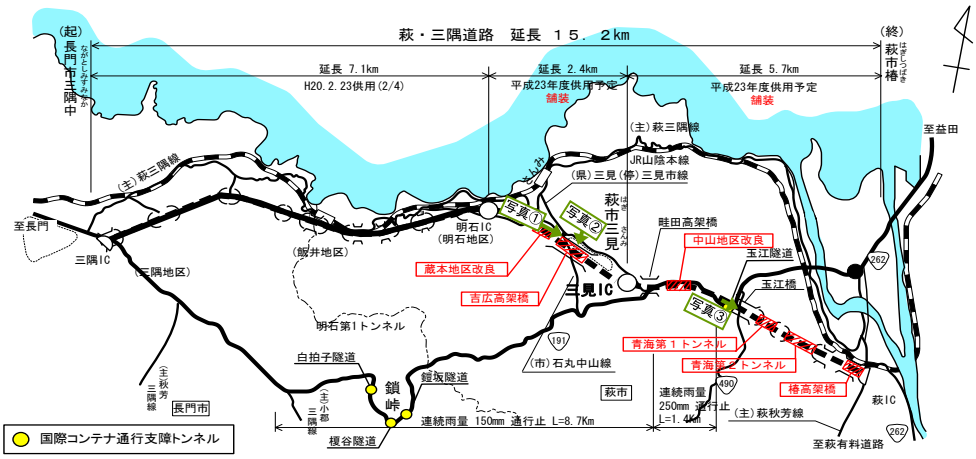
一般国道191号　萩・三隅道路

一般国道191号萩・三隅道路は、現道隘路区間の解消及び冬期交通の安全確保を目的とした、山口県長門市三隅中から萩市椿に至る延長15．2kmの道路であり、平成19年度までに三隅IC～明石IC間延長７．1kmが開通（2/4車線）しています。

平成22年度は道路改良（蔵本地区・中山地区）、橋梁（吉広高架橋・椿高架橋）、トンネル（青海第1トンネル・青海第2トンネル）、舗装等を推進し、平成23年度の開通を目指します。





現道状況

●現道（国道191号鎖峠）の災害状況

●現道（国道191号鎖峠）の冬期状況

工事進捗状況

写真① 蔵本地区付近（改良区間）

写真② 吉広高架橋

写真③ 玉江橋

※未供用区間のIC名称及び構造物名称は全て仮称

期待される整備効果

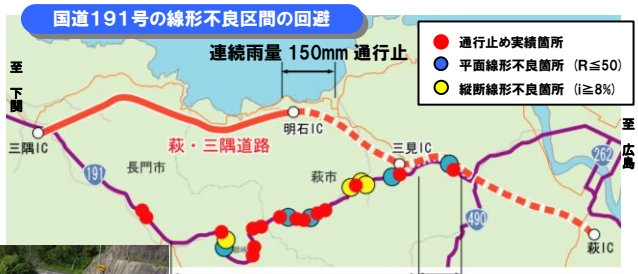
効果１）『山陰側への所要時間が大幅に短縮』

萩・三隅道路を含む山陰道のネットワークの形成により、大幅な所要時間の短縮が期待されます。

※区間：長門市役所～萩市役所
※現況：H11道路交通センサスピーク時旅行速度を用いて算出。
※将来：萩・三隅道路における走行速度を80km/hとして算出。
※資料：国土交通省　山口河川国道事務所

効果２）『線形不良区間の回避』

国道191号の現道区間は、線形不良区間が集中している上、異常気象時通行規制区間が存在しています。萩・三隅道路の整備により、線形不良区間等を回避すると共に、代替道路が確保され、信頼性の高い道路網が形成されます。



■平面線形不良区間